



茨城の土木遺産

筑波山ケーブルカー (つくば市)

大正14年(1925年)竣工

筑波山の観光開発のため、地元の事業家・高柳淳之介氏が大正12年に筑波山鋼索鉄道株式会社を設立して工事に着手。大正14年に竣工(全長1634m、高低差495m)し、営業を開始した。路線の選定に当たっては、地形の改変に配慮して地形に沿って路線を敷設したため、全延長の3分の1がカーブ区間で、進行方向を90度に転換する設定となっており、全国的にも稀な存在である。カーブ区間に設けられた長峰隧道(延長118m)は、急勾配の曲線トンネルである。トンネルの施工に当たっては地山が硬岩(斑れい岩)のため、当時のトンネル施工技術では黎明期にあった発破掘削・コンクリート覆土工法を採用している。管理者は筑波観光鉄道(株)。平成27年度に土木学会選奨土木遺産に認定された。

主な内容

- ▼ 北関東3県合同会議を本県で開催
- ▼ 県建設関連団体と初の意見交換会
- ▼ 建設ディレクターの勉強会開催
- ▼ 12支部が「道の日」で道路美化活動

本会ホームページに「茨建協ニュース」の内容を掲載しています。ご活用ください。

本会はコンプライアンス(法令遵守)をさらに徹底します

発行 (一般社団法人) 茨城県建設業協会

〒310-0062 茨城県水戸市大町 3-1-22

電話 029-221-5126 (代)

H P <http://www.ibaken.or.jp/>

編集 日本工業経済新聞社・水戸支局

CCUS促進、イメージアップを 茨城、群馬、栃木3県建設業協会合同会議

茨城県、群馬県、栃木県の建設業協会による第41回合同会議が7月28日、大洗町の大洗パークホテルで開かれました。議事では本会が提案しました建設キャリアアップシステム（CCUS）の促進や建設業のイメージアップなどについて意見を交換。直面している課題は各県に共通しており、情報を共有しつつ関係機関へ要望していくことなどを確認しました。



石津茨城県会長



青柳群馬県会長



谷黒栃木県会長



各県の課題を話し合いました

主催県である本会の石津健光会長はあいさつで、原材料価格の高騰、担い手の確保や働き方改革等の課題を指摘。「意見の交換は非常に重要なこと。意見交換を通じて解決への糸口が見つかれば幸い。有意義な会議に」と望みました。

群馬県建協の青柳剛会長は「情報交換をしながら参考になることを協会活動に反映できればと思う。業界でまとまって地方建設業の本来の役割を発信していかねばならない」と訴えました。

栃木県建協の谷黒克守会長は地域建設業について「社会資本整備の担い手だけでなく自然災害に対する応急復旧など役割はますます重要になっている。有意義な会議に」とあいさつしました。

来賓の佐藤信秋参議院議員は「良い提案をして、伝えてほしい。制度として直すべきところは直すべきである」と充実した意見交換に期待。

国土交通省関東地方整備局の小林賢太郎企画部長は「各県協会と力を合わせ、生産性の向上、魅力ある建設現場をつくっていく」とあいさつ。

茨城県土木部の田村央部長は「県でも地域の建設業が魅力ある産業として成長していく取り組

みを推進している」と期待を寄せました。

意見交換では、本会から建設キャリアアップシステムへの取り組みを質問。各県とも導入を促しており、継続して取り組んでいくとしました。

建設業のイメージアップへの取り組みも提案。建設フェスタの開催、いばらき建設図鑑の発刊などを行っており、他協会の状況を聞きました。

最後に国土交通省常陸河川国道事務所の日下部隆昭所長、茨城県土木部の田村部長が会議を総括。現状を踏まえ、地域建設業の発展のために取り組んでいくことを伝えました。



その他の県協会が持ち寄った議題は次の通り。

【群馬県建設業協会】

- ・総合評価落札方式における賃上げを実施する企業に対する加点措置
- ・建設DXによる生産性の向上

【栃木県建設業協会】

- ・週休二日制導入に伴う人件費等への対応
- ・新型コロナウイルス感染症及びロシア・ウクライナ情勢に伴う原材料等高騰への対応

適正工期や働き方改革を

県内の建設関連団体と意見交換

本会と茨城県内の建設関連団体との意見交換会が8月2日、水戸市の茨城県建設技術研修センターで開かれました。円滑な施工の確保や担い手の確保へ向けて、専門工事業団体からは働き方改革の推進、適正工期の確保などの要望がありました。

本会の石津健光会長は「建設業界も共通な悩みを抱えている。今後も意見交換をしながら良い建設業界としてまいりたい」と述べました。

意見交換会は、各団体が抱える課題などを共有し、魅力ある建設産業としていくために初開催。

あいさつで石津会長は、経済活動の停滞による景気の低迷や建設資材の高騰など業界の課題に触れ「特に働き方改革は建設業界を挙げて取り組むべき最重要課題である。関連団体で議論を重ね



ながら取り組んでいきたい。受注者の元下間でのダンプ対策も重要。元請企業は適正請負代金と工期が確保されなければならない」と意見交換の狙いを紹介しました。

その後、各団体が課題や問題点、元請企業への要望などを説明。多かった意見は若手人材の確保、適正な工期の確保などでした。

現場支援で負担軽減

建設ディレクターを研修



本会は、建設現場を支援する「建設ディレクター」についての勉強会を8月8日に水戸市の協会本部で開催。石津健光会長など本会幹部が業務内容や効果などを研修しました。建設ディレクターは、写真管理やCAD図面作成などの書類作成を担う人材で、ITのスキルで現場業務を支援します。勉強会では建設ディレクター協会の新井恭子理事長から説明を受けました。

CCUS促進へ研修

経営企画委員会



本会の経営企画委員会（鶴田哲男委員長）が8月4日に水戸市の協会本部で開かれ、建設キャリアアップシステム（CCUS）の普及促進へ研修を行いました。茨城県土木部からCCUSの現状や利点などの説明を受け、意見交換を実施。鶴田委員長は「CCUSの普及へ勉強して、専門工事業の方にも普及させていかなければならない。ご指導をお願いしたい」とあいさつしました。

土木技術者を対象に 自己啓発講習会



本会は8月3日、茨城県土木施工管理技士会や経済調査会との共催による土木技術者スキルアップ講習会を水戸市の茨城県建設技術研修センターで開催。参加者は、できる現場代理人、として現場運営力の向上へ、具体的な技術と精神面のノウハウなどを研修しました。

1級土木施工管理検定 合格へ二次対策講座



本会は8月30日、茨城県土木施工管理技士会や経済調査会との共催による1級土木施工管理第二次検定（選択問題）の対策講座を水戸市の茨城県建設技術研修センターで開催。参加した技術者は過去問題や予想問題などに取り組み、合格への弾みをつけました。

建設業経営者研修会 ホームページに掲載

本会は令和4年度の建設業経営者研修会のテキストを茨城県土木部監理課と共に作成しました。監理課ホームページからダウンロードができます。テキストの内容は、県内建設業者の現況、入札契約制度の改善、適正な施工体制の確保、建設業の労働災害防止など。

災害時に対応へ 鋼矢板二重式仮締切を見学



本会は7月26日、国土交通省関東地方整備局と荒川上流河川事務所管内の「入間川右岸古谷樋管改築工事」（埼玉県川越市）の現場で「鋼矢板二重式仮締切」の現地見学会を開催。災害時に対応するため、施工事例の少ない鋼矢板二重式仮締切を見学し、施工手順などを学びました。

代理人スキルアップセミナー



本会は茨城県土木施工管理技士会と共催で、現場代理人を対象としたスキルアップセミナーを水戸市で7月19日、20日に、土浦市で8月2日と3日に開催。参加者はマネジメントなどを研修しました。研修内容は現場のコストダウンの考え方や実践的な進め方、簡易な施工計画、現場代理人のマネジメントなど。

建設フォトコンテスト 9月30日まで作品募集

本会では、街をつくる建設と人を写真で伝える「いばらき建設フォトコンテスト」の作品を募集しています。県内の建設の風景や重機などの魅力を伝える作品を募っています。応募締め切りは9月30日。何点でも応募できます。詳細は本会ホームページに掲載。

安全な職場づくりを 死亡災害ゼロ推進大会



建設業労働災害防止協会茨城県支部（石津健光支部長）は7月22日、建設業「死亡災害ゼロ」推進大会を水戸市の茨城県建設技術研修センターで開催しました。安全講話で災害ゼロを確認し、大会決議を採択。石津支部長は「安全管理体制の一層の改善・向上に取り組んでいただくようお願い申し上げます」と呼び掛けました。

建設業の魅力発信 夏休み親子見学会



本会は8月23日、小学校6年生の親子を対象とした「夏休み建設現場親子見学会」を那珂川緊急治水対策プロジェクトの大場遊水地整備工事（常陸大宮市）の現場で開催。参加した親子9組18人は遠隔臨場やVR体験、ミニチュア土砂改良などを行い、建設業の魅力を体験してもらいました。

建災防
県支部

令和4年10月～12月 講習会日程

建設業労働災害防止協会茨城県支部は、令和4年度下半期の各種講習会等の日程をまとめました（そのうち10月から12月までの日程は別表）。講習会等の問い合わせ・申し込みは建災防県支部（水戸市大町3-1-22茨城県建設センター3階、電話029-300-4638）または支部、分会へお願いします。

月	日	曜日	講習名	会場	備考
10	3	月	振動工具取扱作業従事者	建荷協研修センター	
	11	火	職長・安全衛生責任者能力向上	茨城県建設業協会竜ヶ崎支部会館	
	13	木	石綿作業主任者	鹿嶋市商工会館	
	18	火	高所作業車の運転	鹿島港湾福祉センター	(学科)
	20	木		茨城県建設技術研修センター	(実技)
	24	月	高所作業車の運転	建荷協研修センター	(学科)
	26	水			(実技)
27	木	フルハーネス型安全帯特別教育	茨城県建設技術研修センター		
11	1	火	足場の特別教育	茨城県建設技術研修センター	
	4	金	刈払機取扱作業者	建荷協研修センター	
	8	火	足場作業主任者	茨城県建設技術研修センター	
	10	木	足場作業主任者	茨城県建設業協会高萩支部会館	
	14	月	コンクリート工作物解体作業主任者	茨城県建設技術研修センター	
	17	木	フルハーネス型安全帯特別教育	建荷協研修センター	
	21	月	石綿作業主任者	茨城県建設技術研修センター	
24	木	建築物石綿含有建材調査者講習（一般）	茨城県建設技術研修センター		
12	11/30	水	高所作業車の運転	鹿島港湾福祉センター	(学科)
	2	金			(実技)
	8	木	木造作業主任者	鹿島港湾福祉センター	
	14	水	地山の掘削及び土止め支保工作業主任者	茨城県建設技術研修センター	
	16	金			
	20	火			
	21	水	足場作業主任者	茨城県建設技術研修センター	
23	金	フルハーネス型安全帯特別教育	茨城県建設技術研修センター		

8月10日
「道の日」に合わせ

12支部が県内で道路美化活動

本会の12支部では、「道の日」である8月10日に合わせ、県内各地で茨城県土木（工事）事務所、市町村などと共に道路美化活動を実施。地域貢献に汗を流しました。活動中には住民の方から「ご苦労さま」と労いの言葉をいただきました。

水戸支部



水戸支部（下田德行支部長）は8月10日、水戸市、旧内原町、笠間市、小美玉市、茨城町、城里町、大洗町の7地区で清掃活動を実施。約200人がごみを拾い集めました。下田支部長は熱中症対策と作業時の交通安全を呼び掛けました。

大子支部



大子支部（大藤博文支部長）は8月9日、茨城県大子工務所、大子町と合同で道路清掃活動を実施。支部からは94人が参加し、405kgのごみを回収しました。大藤支部長が「道路の重要性を再認識してほしい。ご協力を」と伝えました。

太田支部



太田支部（瀬谷實支部長）は8月3日、茨城県常陸太田工務事務所と道路の清掃活動を実施。常陸太田市からの応援も含めて総勢47人が参加し、カーブミラー清掃、空き缶などのごみ回収を行いました。

高萩支部



高萩支部（秋山光伯支部長）は8月3日、茨城県高萩工務事務所などと道路清掃活動を実施。約200人が参加し、ごみを拾い集めました。秋山支部長は「事故などには気を付けてほしい。体調第一の活動を」と呼び掛けました。

常陸大宮支部



常陸大宮支部（高野潔支部長）は8月10日、茨城県常陸大宮土木事務所と道路清掃を実施。約110人が参加しました。高野支部長は「大事なインフラである道路を、末永く利用できるようご協力を。熱中症に注意して」と呼び掛けました。

鉾田支部



鉾田支部（羽生義隆支部長）は8月10日、茨城県鉾田工務事務所、鉾田市、行方市などと協力し、道路清掃活動を行いました。羽生支部長は「道路の大切さを訴え、マナーを守ってもらえるよう、アピールしたい」と呼び掛けました。

県土木(工事)事務所、市町村と共に 地域貢献活動に汗

この活動は、地域社会への貢献活動の一環として毎年行っています。各支部では「生活を守り、まちをささえる建設業」などと書かれた旗を掲げ、「建設業協会」と名前が入った統一ベストを着用。ごみ拾い、除草、カーブミラー清掃、違反広告物の撤去などに取り組み、清い汗を流しました。

潮来支部



潮来支部（松崎里志支部長）は8月8日、茨城県潮来土木事務所、鹿嶋市、鹿嶋市建設業協同組合と協力し道路環境美化活動を行いました。約110人が参加。松崎支部長は「利用者に気持ち良く道路を使ってもらいたい」と呼び掛けました。

筑西支部



筑西支部（小薬拓巳支部長）は8月10日、約30班に分かれて新型コロナウイルス感染症対策を講じながら清掃活動を行いました。筑西市役所職員らも加わり、可燃ごみ214袋分、不燃ごみ169袋分、立て看板などを拾い集めました。

竜ヶ崎支部



竜ヶ崎支部（細谷武史支部長）は8月10日、茨城県竜ヶ崎工事事務所や龍ヶ崎市と道路清掃活動を展開しました。支部から約90人、工事事務所から約20人、市から約10人が参加し、5班編成でゴミ拾いを行いました。

常総支部



常総支部（中川原勇支部長）は8月10日、茨城県常総工事事務所・八千代町・下妻市・常総市と道路美化活動に取り組みました。感染防止対策や熱中症予防を講じながら、総勢123人が参加。合計170kgのごみを回収しました。

土浦支部



土浦支部（小林伸行支部長）は8月10日、373人166社が参加し、道路の清掃活動を実施しました。土浦分会から145人58社、つくば分会から154人72社、石岡分会から74人36社が参加し、地域社会のためゴミ拾いに尽力しました。

境支部



境支部（新井孝支部長）は8月10日、茨城県境工事事務所や古河市、坂東市、境町、五霞町の管内市町と道路美化活動に行いました。総勢245人が参加し、総延長118.8m区間のごみを回収しました。

支部活動報告

太田支部

ASP徹底へ講習会



太田支部（瀬谷實支部長）は8月25日、茨城県常陸太田工事事務所（木村政美所長）と情報共有システムの講習会を県常陸太田合同庁舎で開催。システムの実施要領や操作方法、活用方法を研修し、理解を深めました。

竜ヶ崎支部

安全講習で労災防止学ぶ



竜ヶ崎支部（細谷武史支部長）は8月2日、茨城県竜ヶ崎工事事務所（蛭町修身所長）と共に公共工事における安全講習会を開催。事故発生事例や労働災害防止対策を学びました。細谷支部長は「よく学んで、共有してほしい」と伝えました。

大子支部

働き方改革へ講習会



大子支部（大藤博文支部長）は8月2日、大子合同庁舎で働き方改革の講習会を開催。建設業の労務管理の理解を深めました。大藤支部長は「労務管理などの内容を正しく理解し、担い手不足や生産性の向上を」と呼び掛けました。

常総支部

ASPの理解深める



常総支部（中川原勇支部長）は8月2日、茨城県常総工事事務所（佐藤啓司所長）と情報共有システム（ASP）講習会を支部会館で開催。利用方法などを学びました。中川原支部長は「しっかりと勉強してほしい」と呼び掛けました。

鉾田支部

ASP活用へ研修



鉾田支部（羽生義隆支部長）は8月3日、茨城県鉾田工事事務所（秋山文昭所長）と情報共有システム（ASP）の講習会を支部会議室で開催し、理解を深めました。羽生支部長は「しっかりと学び、生かしてほしい」とあいさつしました。

境支部

ASPの活用学ぶ



境支部（新井孝支部長）は8月2日、茨城県境工事事務所（野島泰久所長）と2回目の情報共有システム（ASP）講習会を開催。システムの概要や操作方法、利用の流れなど活用方法を学び、理解を深めました。

建設発生土の搬出先明記

国交省の直轄工事

国土交通省は工事請負契約書の制定等に関する通知を見直し、危険な盛り土などの発生を防止するため直轄工事における建設発生土の搬出先を明確化しました。9月1日以降に締結する契約案件から適用しています。

建設発生土の搬出先については、工事現場から搬出する予定がある場合、「仕様書」または「現場説明書」の中で搬出先の名称および所在地を定めました。

そのほか暴力団排除のさらなる徹底も進めます。①公共約款の「役員等」の範囲に含まれない「その他経営に実質的に関与している者」が暴力団に便宜供与等を行った場合②役員等が暴力団または暴力団員であることを知りながらこれを不当に利用するなどしていると認められる場合に発注者が契約解除を行うことを可能にしました。

公共事業費に62億円追加

茨城県の9月補正予算案

茨城県は令和4年度9月の補正予算案をまとめました。118億900万円の増額補正で、そのうち公共事業費は62億8,500万円を追加。内訳は国補公共事業費は53億5,400万円、県単公共事業費は9億3,100万円。

また来年度の公共工事の平準化を図るため債務負担行為に41億2,000万円を設定しました。

公共事業費の概要は次の通りです。

【国補公共事業】

- ◆圏央道I C・港湾等整備 = 14億9,000万円
- ◆橋梁の修繕や耐震補強等 = 7億7,700万円
- ◆高潮対策に必要な整備等 = 15億9,600万円
- ◆その他（河川・公園等） = 14億9,100万円

【県単公共事業】

- ◆資材の高騰で事業量確保 = 6億7,000万円
- ◆緊急対応の道路河川修繕 = 2億6,100万円

令和4年度

茨城県技術者表彰受賞者

(8月表彰分)

※受賞者(企業名) 敬称略

【企業局長表彰】

- ◆三村哲也 (株)杉原建設

【水道事務所長表彰】

- ◆江口誠一 (株)江口工務店
- ◆川井一男 (株)根本工務店
- ◆小松崎洋文 (市)村土建(株)
- ◆齋藤昭広 (増)川建設(株)
- ◆齋藤素洋 (株)河野工務店
- ◆野上さおり (株)高野工務店
- ◆初鳥栄 (株)齊藤建設

【水戸土木事務所長表彰】

- ◆五位洸智 (菅)原・松浦特定建設工事共同企業体
- ◆山口直之 (株)大貫工務店
- ◆山本利和 (株)木建設(株)
- ◆袴田貴伸 (田)口建設工業(株)
- ◆佐々木勉 (株)桐原工務店
- ◆石井知 (株)柳田組
- ◆富岡宏延 (平)和建設(株)
- ◆長谷川治 (菅)原建設(株)
- ◆市村忠夫 (仙)波建設(株)
- ◆小林健治 (有)鈴木緑化サービス
- ◆菊地淳 (株)潤沼建設工業
- ◆木村憲一 (株)金長設備工業
- ◆中村健二 (株)豊島工務店
- ◆森田武蔵 (株)雲井工務店
- ◆庄司昌喜 (常)磐造園(株)
- ◆小貫修平 (株)沼田機業
- ◆清司ともみ (有)清司工務店

- ◆勝山敏郎 (大)昭工業(株)
- ◆大座畑順一 (有)大座畑建設
- ◆池田光一 (株)小林工業
- ◆荻谷克仁 (株)田口工務店

【常陸大宮土木事務所長表彰】

- ※優秀主任(監理)技術者表彰
- ◆米木圭介 (平)野・八木特定建設工事共同企業体
- ◆高野弘行 (東)康・環境保全特定建設工事共同企業体
- ◆石崎亨 (株)龍崎工務店
- ◆小沼賢二 (株)大曾根建設
- ◆仁瓶貴之 (長)山工業(株)
- ◆富山強 (株)高野工務店
- ◆橋本直行 (橋)本建設(株)
- ◆蓮田俊一 (株)中島工務店
- ◆佐藤努 (株)大興建設
- ◆齋藤素洋 (株)河野工務店
- ◆倉持孝行 (株)鶴田組
- ◆富岡克彦 (横)信建材工業(株)
- ◆中島真弓 (株)中島工務店
- ◆小林誠 (株)平野産業
- ※感謝状贈呈現場代理人
- ◆阿久津貴之 (増)子建設(株)
- ◆蓮沼直也 (株)龍崎工務店
- ◆鳥山武之 (株)小林工務店
- ◆皆川正樹 (有)アンカーライフシステム

【龍ヶ崎工事事務所長表彰】

- ◆大崎嘉也 (大)竹建設(株)

- ◆松平則幸 (大)昭建設(株)
- ◆松村和彦 (松)浦建設(株)
- ◆齋藤昭広 (増)川建設(株)
- ◆和田一也 (樋)口土木(株)
- ◆高橋俊充 (日)本ファブテック(株)
- ◆成塚法義 (栗)山工業(株)
- ◆吉田茂生 (櫻)井建設工業(株)
- ◆野村高広 (松)尾建設(株)
- ◆萩原忍 (桂)建設(株)
- ◆村山房徳 (日)高見建設工業(株)
- ◆郡司善広 (細)谷建設工業(株)
- ◆谷頭英昭 (福)智建設工業(株)
- ◆吉岡広明 (常)盤造園建設(株)
- ◆上野雄一 (株)上建

【常総工事事務所長表彰】

- ※優良主任(監理)技術者表彰
- ◆齊藤和人 (有)苅部建設
- ◆根本一郎 (丸)三商事工業(株)
- ◆飯塚隆則 (野)口機設工業(株)
- ◆松崎平 (大)坂建鋼(株)
- ◆猪瀬定男 (株)大木組
- ◆佐藤光 (県)西建設業(同)
- ◆松山昭 (塚)田建材(株)
- ◆水越久美子 (常)総機材(株)
- ◆会田康之 (石)塚産業(株)
- ◆人見雄二 (正)栄工業(株)
- ※感謝状贈呈
- ◆湯本秀男 (株)菊池土建
- ◆川田智也 (株)飯野工業

令和4年度 建設業退職金共済制度加入促進強化月間

令和4年10月1日～令和4年10月31日

建退共は建設業で働く労働者のための退職金制度です

独立行政法人 勤労者退職金共済機構
建設業退職金共済事業本部
建退共茨城県支部

TEL 029-225-0095 FAX 029-225-1158
<https://www.kentaikyo.taisyokukin.go.jp>

建設フェスタ 2022

体験して！ 触って！ 一緒に写真が撮れる！

入場無料 国内最大級

事前申込制(抽選) 清流ブロックを作るう！

当日整理券配布 シミュレータで機械を動かそう！

令和4年 10/8(土) 9:00~15:30

029-221-5126 070-1185-8164 080-9453-5532

知ってほしい、より安心の制度。

掛金負担が軽減 契約者割戻金制度がスタート

手厚い補償 保険区分合計 最高5,000万円

労働者と企業のリスクをカバー

法定外労災補償制度

建設共済保険

「建設共済保険」の他にも、次のような事業を行っています。

青英奨学事業 労働安全衛生推進事業

公益財団法人 建設業福祉共済団

0120-913-931 <https://www.kyoosaidan.or.jp/>

10月・11月は建設共済保険加入促進月間です

建設フェスタ 2022 10月8日(土)開催

建設業の魅力をアピールする「建設フェスタ2022」が10月8日(土)に笠松運動公園(ひたちなか市)の屋内水泳プール西側特設会場で開催されます。ご来場をお待ちしています。

会員の動向

〈代表者変更〉

- ▽水戸支部 (株)葵建設工業 栗原 英則 → 栗原 真由子
- ▽潮来支部 水郷建設(株) 茂木 陽子 → 茂木 充史
- ▽土浦支部 中川理水建設(株) 中川 喜久治 → 中川 清
- ▽常総支部 (株)染谷工務店 服部 明浩 → 中山 英俊